

# 千秀だより

横浜市立千秀小学校

11月号

平成28年(2016)11月1日



140回目のおめでとう。

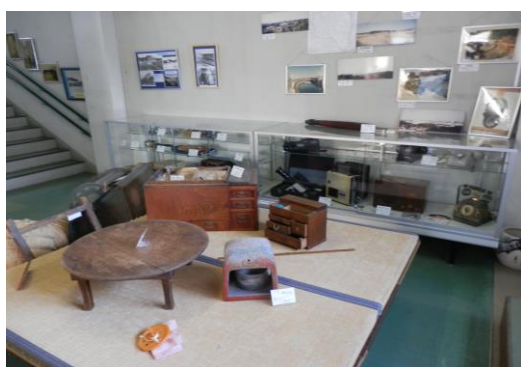
校長 市川幸男

校庭の木々が色づきはじめ、秋の深まりを感じる季節となりました。子ども達の装いも白や赤といった夏の華やぎを感じるものから、茶や深い青といった落ち着いた色調のものとなってきました。そういった変化に伴ってか、廊下を回ってみますと、各教室からさらさらノートやプリントの上を滑る鉛筆の音や、先生方の発問に真剣に考える子ども達のつぶやきが聞こえて参ります。子ども達もすっかりと今の学年での学校生活に慣れ、落ち着いた学習の姿になってきました。ご家庭での協力のたまものだと感謝しております。今後ともよろしくお願い致します。

さて、今月は本校創立140周年を迎える月でもあります。来る20日(日)には、140回目という節目の誕生日のお祝いの会を計画しております。具体的には、別紙でもお知らせ致しますが、午前中、子ども達による音楽会を中心としたお祝いの会を開き、午後には、教育委員会をはじめとして、本校に関係する皆様に招き、祝賀会を開催致します。午前中のお祝いの会は、保護者の皆様の座席も設けてありますので、是非とも参観いただき、子ども達に励ましの言葉をかけていただけたらと思います。

今回の周年行事では、多くの保護者、地域の皆様のご協力をいただいております。その一つに、ふる里館の創設がございます。地域や家庭に残る、かつて使っていた生活道具や、学校に由来のあるものを、たくさん提供していただきました。また、展示物の収集や展示についても、周年行事ボランティアの事業部会の皆様に大変なご尽力をいただきました。紙面上ではありますが、心から感謝申し上げます。

当初の計画では、空き教室を活用していく予定でしたが、学級数が増加するという嬉しい誤算があり、西階段踊り場を展示場所としました。二階踊り場には昭和時代を中心とした生活物品を、三階踊り場には明治時代以降の学習用具を展示しております。今後、生活科の学習や学校の歴史の学習などで、大いに活用させていただきたいと思います。オープンスクールの参観と合わせてごらんいただければ幸いです。



二階 なつかしい生活の様子



三階 昔の教科書や学用品

「千に秀でた子の育成」記念誌等に寄せられたお祝いの言葉に多く使われ、本校の校舎側面にも大きく掲示している、千秀小学校の教育の理想でございます。学制発布から4年後、近代日本の創世記とも言える時期に、地域の願いのもと、高い理想を校名とし創立された千秀小学校。その創立の主旨をしっかりと受け止め、これからも保護者・地域と共に歩を進め、理想の実現を目指していく学校でありたいと考えています。